【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2003-333207(P2003-333207A)
【公開日】平成15年11月21日(2003.11.21)
【出願番号】特願2003-101546(P2003-101546)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｍ　11/00
　Ｈ０４Ｂ　 7/26
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｍ　11/00　　３０２
　Ｈ０４Ｂ　 7/26　　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成17年4月12日(2005.4.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　メロディのデータの利用者が、メロディのデータの提供者と電話回線を介して、提供者の元に登録されているメロディを選択すると、選択されたメロディのデータと利用者の受信機のアドレスデータが電話回線を介して送信され、利用者の受信機にメロディのデータが着信されることにより、利用者にメロディのデータを提供することを特徴とするメロディのデータの提供方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
　【０００７】
【課題を解決するための手段】上記従来例の問題点を解決するための本発明は、メロディのデータの提供方法において、メロディのデータの利用者が、メロディのデータの提供者と電話回線を介して、提供者の元に登録されているメロディを選択すると、選択されたメロディのデータと利用者の受信機のアドレスデータが電話回線を介して送信され、利用者の受信機にメロディのデータが着信されることにより、利用者にメロディのデータを提供することを特徴としており、利用者が報知音を容易に追加できる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
　【００２５】
【発明の効果】本発明によれば、メロディのデータの利用者が、メロディのデータの提供者と電話回線を介して、提供者の元に登録されているメロディを選択すると、選択されたメロディのデータと利用者の受信機のアドレスデータが電話回線を介して送信され、利用者の受信機にメロディのデータが着信されることにより、利用者にメロディのデータを提

供するメロディのデータの提供方法としているので、利用者が報知音を容易に追加できるという効果がある。